

第4回 門真市環境基本計画庁内検討委員会会議録

会議の名称	第4回 門真市環境基本計画庁内検討委員会	
開催日時	平成26年11月21日(金)	13:30~15:30
開催場所	市役所本館2階 大会議室	
出席者	委員	副市長 川本委員（委員長） 市民生活部長 市原委員（副委員長） 総合政策部長 稲毛委員 総務部長 森本委員 まちづくり部長 中道委員 上下水道局 廣田次長（西口委員（上下水道局長）の代理） 教育委員会事務局学校教育部 山口次長（藤井委員（教育委員会事務局学校教育部長）の代理） 教育委員会事務局生涯学習部長 柴田委員 教育委員会事務局こども未来部長 河合委員
	事務局	門真市市民生活部 溝口次長、環境政策課 橋川課長、小西課長補佐、和田（株）地域計画建築研究所（アルパック） 畑中、森野
議題 (内容)	1. 経過報告 2. 門真市環境審議会からの答申について 3. 門真市環境基本計画（案）について 4. 今後のスケジュール 配布資料 資料1 門真市環境基本計画庁内検討委員会設置要綱 資料2 門真市環境基本計画庁内検討委員会名簿 資料3 門真市環境基本計画(案)について答申 資料4 計画策定スケジュール	
担当部署 (事務局)	(担当課名) 市民生活部 環境政策課 (電話) 06-6909-4129	

会議記録
(議事内容)

1. 経過報告

事務局より、経過報告

2. 門真市環境審議会からの答申について

事務局より、答申書の説明及び答申書代読

川本委員長：このように答申の一部として、審議会で出された意見を反映させた、「門真市環境基本計画の審議会案」が取りまとめられ、市へ提出されました。この計画案策定までの経過と内容について事務局より説明をお願いいたします。

3. 門真市環境基本計画（案）について

事務局より、門真市環境基本計画（案）説明

川本委員長：ありがとうございました。ただいまの説明に対して、ご意見・質問等はありませんか。

稲毛委員：P.2 の上位計画の関係ですが、(2) 下の 2 ですが総合計画は、22 年策定となっておりますが、これを書くのであれば今年度中間見直しをやっていまして、少しそのことにも触れて頂ければと思いました。というのも P.9 の将来人口の推計値、一番下の表ですが新たに入ったということであれば、今回の中間見直しで推計を 12 万 5 千人に改めて作っているの、出来れば同じ年度の策定なので合わせていただいた方が整合性がとれるかと思えます。出来れば最新のものにしていただければと思えます。

川本委員長：第 1 章で将来人口の所の表現が中間見直しで、合わせて第 2 章のグラフが変わってくるということですが、これは本年度の取り組みの中で進捗状況にあるとの事で、この辺りは入れさせてもらってもよろしいでしょうか？事務局はどうでしょうか？

事務局 (小西)：中間見直しと整合性がとれるように加筆修正させていただきます。

川本委員長：あとは計画の期間の図が変わり、より分かりやすくなっていると思います。P.7 の所に今までの文章にプラスして実際に条例にある文章を入れたという事でこの辺りはこれでよろしいでしょうか？

中道委員：細かい部分ですが、CO₂ の表現方法を統一するとされていますが、P.3 の一番上の所の 3 行目ですが、発生する二酸化炭素と書いていますがここに括弧書きで CO₂ とやってしまうと、全部 CO₂ が二酸化炭素だと分かるので、そ

の方が良いのではないかと思います。他の所で難しい化学式が漢字で書いてある部分は気になる所もあるのですが、CO₂を統一的に変更するのであればこの漢字の部分も括弧書きで付ければいいのではないかと思います。

P.3の所で表現方法が本文の中で二酸化炭素とCO₂が混ざっているということで、CO₂に全部統一されたと説明がありました。1行上のところに温室効果ガスなどの排出を抑制する取り組みを行っておりますと、ここで漢字が出てくるのでそれだったらこの後ろに括弧書きでCO₂と付ければ、説明になっていいのではという提案です。

市原副委員長：この修正については緑色でCO₂を加えたということなのですね。前回までは単に2009年度の排出量を基準として表現していたのを、ここはCO₂を入れていなかったから入れたということなのかと思います。

事務局(小西)：CO₂が入っていなかったのを加筆させていただいたということです。

川本委員長：全部の見直しは大変ですから、修正箇所について特に意見を頂戴したい。第1章はそれでご検討下さい。第2章ですが、図・グラフ等の差し替え、新たに入っている部分が、かなりあり、表現等もまとめられて載せている部分等、たくさんあります。先程のP.9の部分の将来人口の推計値については、今現在の進捗状況にある、新しい計画の数値をグラフに使って頂きたいということによろしいですね。それについてはその形で宜しくお願いします。あとは如何でしょうか？

また、バス路線にコミュニティバスは入っていますか？

事務局(小西)：5路線の中を含めた数になっています。

柴田委員：P.16にあります、低炭素型まちづくり、中町低炭素タウン推進をやっていたらいいのですがP.37の6行目に「本市では、まちづくりとの連携を通じて省エネルギー・低炭素化を推進するとともに～」と書いてあります。こちらには省エネが書いてないので、まちづくりの方は省エネをあえて省いてるのであればそれでよいのですが、一応確認頂きたい。省エネと省エネルギーが混在してるのでどっちか統一していただけたらと思います。

川本委員長：事務局、そのあたりはいかがでしょうか。

事務局(小西)：省エネに関しては、省エネと省エネルギーの語句の統一を図る方が市民の方にも分かりやすいと思いますので「省エネルギー」という形で統一し

の方が良いかという考えです。もう一つの中町の件ですが、低炭素タウン推進と P.37 の省エネルギー・低炭素化の推進ですが、こちらは「幸福町・垣内町・中町低炭素タウン推進協議会」という名称でありますので別のものになります。

川本委員長：よろしいですか。名称と、文言については少し抜けていたということで、統一してもらいます。

市原副委員長：P.27 門真市内の主な水路という所で、砂子水路の写真が 2 枚ありますがこれが本当に砂子水路のように見えません。左側に砂子水路の桜がありますが、写真の差し替えをしてはどうかという話が内部でもありました。

川本委員長：写真を差し替える方向で、桜の咲いているのは無かったのでしょうか。

事務局(小西)：印象の良いきれいな写真に差し替えます。一応、前の P.26 に桜の写真があります。

川本委員長：夜桜ではなくて、昼の桜でも良いと思います。

柴田委員：P.19 太枠内の 2 番目、「排出者責任の浸透」と書いてありますが、よく分からない言葉なので、全体で取り組むことならば「社会的責任として事業者の自主的なごみ減量を促進する～」という表現にした方が良いと思うが検討して下さい。

川本委員長：これは専門的な用語なので、意味はあるのだらうと思います。

事務局(橋川)：産業廃棄物につきましても、事業活動で出る事業系ごみにつきましても、排出者の責任ということで廃棄物に関しては、よく「排出者責任」という表現をします。ごみを出す側の責任ということで多用されている文言ですので的確な表現としましては、使いやすいものかと思い、こういう表現になっています。

川本委員長：反対にこの表現で無いと、事業者に対する責任がぼけてしまうような気がします。

柴田委員：コンプライアンスも含めて、社会的責任 CSR がありますが、それと同じ事ではないのでしょうか。まだ社会的責任の方が聞き慣れているので、わかりやすいかと思いました。

事務局(橋川)：ごみに関する出す側の責任という意味での「排出者責任」という言葉が的確かと思います。

川本委員長：よろしいでしょうか。ちなみに二酸化窒素等の濃度とかの表現、グラフが日平均の98%値がついていますが、これが一般的な表現ととらえてよろしいでしょうか。通常の公害等の観測値というか、表現されるのはこの98%値でよろしいですね。では第2章についてはよろしいでしょうか。それでは第3章ということで、目指す環境像の所の一文が付け足しということで、そこについて意見はありますでしょうか。

柴田委員：P.31の黄色の部分、せっかく良い事が書いているので、これも黒丸をつけて、他の面でひとつ代表的に現す言葉として、ここも太い字で表現にした方がよいのではないのでしょうか。

川本委員長：そのあたりは体裁の問題があるのですが、どうでしょうか。

事務局(小西)：上の「未来の子どもたちに～」というキャッチフレーズの補足説明的なものと考えております。同じ様な字体にしますと2本建てのような印象を持たれてますので、補足説明という意味で差別化を図っています。

川本委員長：他の所と取り扱いが違うということですね。

柴田委員：キャッチフレーズの補足説明なので、こんなに短いのでしょうか。

事務局(橋川)：サブタイトルで説明的なものもあります。例えば緑を下まで広げて中に入れて、見せ方の工夫をさせていただきます。このままですと、上とひっついていてというイメージではないので、緑を広げて小さめの文字でサブタイトル的に入れる表現の工夫をさせていただきます。

川本委員長：少し見せ方を工夫していただくということでよろしく申し上げます。次に、第4章の取り組みで、この辺りかなり行政の各部署に影響がありますが、どうでしょうか。特に「水と緑の保全・創造による良好な～」と水をかなり強調して入っていると先程の説明にもありました。

河合委員：第4章の部分の要望で、戻ってP.28雨水タンクの設置の所の「幼稚園への雨水タンクの設置により水の大切さを学ぶ環境教育を行っています」で、ここは、就学前教育の関係の事を大きく絵にさせていただいている。第4章の所

では就学前教育をやっているのかと見せてもらったが P.35 一番下の段の「学校教育以外にも未就学児から成人までの幅広い層に対し、環境について体験や学ぶ機会を提供します」ということで、写真に書いていただいている未就学児ということでひつつくと思いました。次のページでは市民・事業者・市になっていて「学校」という言葉がよく出ていたり、「小学校・中学校」はよく出ていますが「就学前」という言葉もどこかに入れられるのであれば入れて欲しい。P.35 に書いてあるのでよいかとも思いましたが、例えば市の所の 3 行目「学校での環境教育・環境学習～」と書いている様な部分に「就学前教育としてもしくは」とか、上の「環境学習・体験の機会について情報提供～」に先程の「未就学児からの幅広い」とかを入れて頂いたら、「就学前」も一応、環境の中でも門真としてはやっていると強調されていいかと思っています。もうできている話なのでどこまで入れられるかは分かりませんが、もし入れられるのであれば考えていただきたい。

川本委員長：子育て云々の中で「就学前」という取組が必要だという形で、ある程度完成した形になっているのですが、言葉としていれられないかということでも検討いただきたい。他にありますか。

柴田委員：P.35 真ん中の主な内容の一番下に、市民・市民団体・地域団体とありますが、ここだけ市民団体が出てきています。隣のページをみると例えば P.34 ③の NPO や市民、市民団体、地域団体の市民と地域団体の点は、市民団体の地域団体という意味の点か、または一人一人の市民と地域団体かどうか分かりませんが、もしこれが市民団体・地域団体という意味なら P.35 に市民団体が出てくるのはわかりますが、そうでないなら何故ここに出てくるのでしょうか。他も見直しが必要ではないでしょうか。

川本委員長：ここに市民団体としている意図があるのかどうでしょうか。特になにかありますか。

事務局(小西)：地域団体の意味合いと考えております。

川本委員長：文言の整理も含めて一度見直していただきたい。ちなみ P.35 最後の所の②の環境教育に関する情報の公開・提供の中の中点 2 つ目に市民団体という言葉が出て来ますが、ここで使っている意味が違うのか事務局で確認いただきたい。先程の市民団体については、施策①の 2 の所は市民・地域団体・事業者と 3 つ並列で書いているので、あえて市民団体を入れなくてもいいかと思いますが、この下から 3 行目の市民団体に関してはまた違う意味なのかと思います。

柴田委員:地域団体とか地縁組織とか自治会とかと思いますが、市民団体とかNPOとか公益活動とかやっているのも入るのではないのでしょうか。NPOや市民団体、③も市民団体のことではないかと思います。P.34で団体の表現を統一したほうがよいかと思います。

川本委員長:前のページも含めて、そこは見直して下さい。

川本委員長:戻ってしまいますが、P.28の雨水タンクの設置で見つけたのですが、「～ロータリークラブが門真市立の全小学校(廃校予定校を除く)」とありますが、これは一体どこのことなのでしょう。この表現でいいのか、入っていないところは潰すのかとなるので、確認をよろしくお願ひしたい。第3章はよろしいのでしょうか。特に水ということで門真市全体水路整備計画等がかなり前面に出て来ている目標というか、形になっているがそれについてもよいのでしょうか。次は第5章でリーディングプロジェクトですが、内容等の変更、それから先程ありました、第4という新たに水や緑の感じるまちづくりの推進ということでリーディングプロジェクトが追加4つになっておりますので、特にその辺りを見て意見がありましたらどうぞ。

柴田委員:リーディングプロジェクトということで、検討というよりもどちらかというに進んで取り組むということで説明がありました。まだ「検討します」という所が何か所か残っている。P.50の下から2つ目とP.51の上から2つ目。別に「進めます」にしても問題ないように思います。

川本委員長:あえて「検討します」という形になっている部分もあるのかわかりませんがどうでしょうか。

事務局(森野):今、指摘のあったP.50～P.51に関しては表現方法を検討させて頂いた結果、そこまでなかなか書きにくいという所が特にP.51にはあり、以前に指摘をいただいてこういう形になっております。P.50に関しては「進めます」に修正します。

川本委員長:P.50の環境学習の所について「進めます」と表現でも問題はないということですが、P.51については指摘があったということで、今の段階では「検討します」という文言にされたということです。これはこれで活かして頂ければよいと思います。こういう表現がリーディングプロジェクトの中にあることについては、特に大きな違和感は出てこないということでよろしいでしょうか。P.50の所の環境学習については、色々取組もあるということで「進めます」と

いう表現に変えさせていただいてよろしいですか？そのままというご意見があればお願いしたい。よければ「進めます」という形にさせていただきます。では文言修正をお願いします。

稲毛委員：P.49 のスマートコミュニティの所で、表現では「導入していきます」と強い表現で明言していますが、下のスマートコミュニティの内容を見るとなかなかハードルが高いように思います。これは書き過ぎではないでしょうか。目指すのは目指したいが、現実的に「導入します」と言い切れるかと言えば、疑問が付きまます。

事務局(小西)：ご指摘の件、審議会でも意見がありまして、審議会としてはこういう思いがありました。しかし実際に行政が行っていくとなるとやはり庁内検討委員会の中で、実際出来るかどうかというのを判断いただいた方がよいのではないかという議論になりました。実情を踏まえながら検討していただいた方がよいかと思います。

川本委員長：これを元々出した時の素案はどうだったのでしょうか。審議会としては「導入していきます」という話になって、そういう表現にしてほしいという意見ですが、但し、それについては具体的な状況も含めて、行政の検討委員会の中で検討した結果をここで反映していいということによろしいでしょうか。そういう意見も付随していると考えてよいということですね。そうするとこの「導入する」というところをもう少し、まだまだ導入できる状況には至っていないので検討的な状況である。先程の P.51 の状況よりも苦しいかもしれないです。

稲毛委員：少し説明書きとは乖離があります。片や交通システムをネットワークでつなげるというのも、これも正直に言って難しい。スマートタウンみたいな可能性はないことはないが、交通を含め、これは大分先の話になるので「導入します」と言い切るのは、現段階ではしんどいと思います。

川本委員長：実際に古川橋の話の中でも言えるのかどうかもあります。

稲毛委員：「導入を図っていきます」くらいが適切かと思います。

事務局(小西)：元々が「導入の可能性について検討します」という表現でしたので、その辺りまで戻してもいいのではないかと思います。

川本委員長：ここについては委員長あたりとの調整は必要になってくるのではな

いでしょうか。審議会の方では行政と十分調整して欲しいという意見でした。我々とする、現在の門真の状況を見た時に、「導入の可能性について検討していきます」という表現を今の段階ではしたいということで、委員長の方に投げただけであればいいということでもよろしいでしょうか。

事務局(小西)：委員長にそのように報告します。

川本委員長：そのようにご了解頂いて、本検討委員会については、そういう表現をお願いしますということでもよいですか。

稲毛委員：「導入を目指します」とか、間をとってもう少し前向きな雰囲気とか、表現は任せます。「導入します」と言い切るのには出来たら検討いただきたい。

川本委員長：そのあたりで調整をお願いします。

河合委員：リーディングプロジェクトだから「やります」というのを出さないといけないのではないのでしょうか。そのことによって、この計画はむちゃくちゃになるというのはダメなので、「検討」も良くないなというのがあります。取り組んでいることを推進するというような、醸しだしはあるけどという部分でもう一度検討された方がいいのではないかと思います。

川本委員長：表現内容については「導入」は今の段階では難しいが、方向性は目指したいという雰囲気を醸しながら、というのが非常に難しいですが、文言の検討をしていただいて、案が出て来たらこういう形にしたいと委員長に了解を求めていただく流れにさせていただきます。

川本委員長：水・緑の形でリーディングプロジェクトの方も新たに出ていますが、これも「すすめる」「推進する」という形になっていますので確認をお願いします。次に最後の第6章について何かありますでしょうか。

川本委員長：なければ、審議会の方の審議会案ということで修正いただいた点について委員の皆様の方から色んな意見を頂戴致しました。まだ何か漏れていたということで何かありましたらどうぞ。

河合委員：全体で意見書と中身を照らし合わせて見てみると、その内の一つに4番の自転車利用に適した地勢が考えられていて、4の所にいきなり自転車利用と書いてあります。これを見て何処に書いてあるのかと探すとP.13に「門真市内は起伏が少なく平坦で、自転車の移動に適しています」とあり、あと見ると書

いていません。次に書いているのが P.39 の所に「自動車利用による環境負荷を低減させる為に公共交通の自転車の利用」。そう思いつつも意見書 3 番目のリーディングプロジェクトの所には実現に向けた取組を早期に着手すると書いてあって、この取組を推進するのをやらないといけないのはリーディングプロジェクトに入れとかないけないのではと思いました。リーディングプロジェクトで特にここと言うところはない状況です。私が思ったのはまちづくり部でも自転車のマナー条例で門真は自転車を使います。マナーも環境負荷の低減の為に自転車を利用したまちづくりをやっているというのもある。もう少し自転車について載せた方がいいのではないかと思います。ものはかなり出ていますので、抜本的に何かを変えようとは思っていません。私の意見ですが、P.49 の部分の市民や事業者の身近な所から省エネや省 CO2 と書いてあるので、このあたりでも少し、市民や事業者の身近な所や市の地勢や地域特性を活かした省エネとか省 CO2 という文言をもう一段付けておいた方が、4 番の自転車と書いてある所の意見書に対する答えとしての計画になるのではないかと思います。それと細かい部分ですが、P.51 の取組内容にレジ袋の削減の取組とありますが、レジ袋の削減取組はいろいろある。マイバッグキャンペーンはもうやらないと決めた様な気がします。代案が無いならば再考された方がいいと思います。もう一点小さな事ですが、P.30 学校教育における環境学習でいっぱい書いているのですが、その中で環境のポスターコンクールもあったと思います。入れても良いのであれば、この辺もいっぱい取り組んでいるというのがわかるのでよいのではないのでしょうか。

川本委員長：3 点ほどありました、まず最初の気になる所で意見書の中に大きく自転車利用という言葉があって、確かに審議会案意見書の中には一ヶ所、自転車という文言が入っています。施策等については、全く今は入っていない状況になっていますが、この辺りは審議会の委員さん方の思いというか、ここには入ってくるけれども審議会案についても審議会の委員さんの思いの中で修正案にされている訳で、1 ヶ所入ると言う形で良いという話なのかどうなのか。そのあたりのニュアンスはどうだったのでしょうか。

事務局(小西)：自転車利用については、施策の中で議論があったのですが、リーディングの方に、低炭素のリーディングに入れるという議論にはならなかったというのが結論としてあります。施策の部分に関して最初は自転車利用がそこまで入り込んでなかったのですが、委員さんからのご意見に伴って、自転車利用という文言を盛り込んだ形になっています。

川本委員長：施策の中に入っていましたか？

事務局(小西)：P.39 のところに。施策 2-2 中点 1 つ目です。

川本委員長：修正で入れられた訳ではないのでしょうか。元々入っていたのでしょうか。

事務局(小西)：はい。

川本委員長：元々入っているので良い。ということですね。

事務局(小西)：特にリーディングの方に、という意見は無かったので、今回は入れていません。

川本委員長：修正すべきと、審議会からは来ていない。ということです。施策については当然、今本市については自転車道等の整備を現実にやっているのも施策の中には入っていますが、具体的な施策についてはそれでいいだろうという判断だったということによろしいでしょうか。

河合委員：それで意見書に書いて頂いたところの回答としての計画ということで理解できるならば、それで問題ないと思います。

川本委員長：それ以外にもっとこういうのがやりたいというのがあれば入れていただいて結構です。まだ今のところはないという所ですね。あとレジ袋と環境学習については表現等、何かあれば考えて見て下さいというところでよいかと思います。他に何かありますか。大変短い時間の中だったのですが、十分に色々見て頂きながら多くの意見を出して頂きました。簡単に修正するところ、事務局の方で検討いただきながら、少し文言等について調整が必要な所もありますので、調整する場合は私共の方と確認をしながらその後に各委員にも調整させてもらって特に問題がなければその形で委員長との調整等、最終案という形でまとめさせて頂きたいと思っていますがよろしいでしょうか。そうしましたらそういう形でまとめに入らせていただきます。

それでは、事務局、今後のスケジュールの説明をお願いします。

事務局より、スケジュール説明

川本委員長：その他意見ございませんでしょうか。それでは、これで第 4 回門真市環境基本計画庁内検討委員会を終了いたします。